

Vol. 68 No. 22 (2024-25)

2025(令和7)年2月21日発行

2024-25年度 第2650地区スローガン
持続可能なロータリーに！共に学び、共に行動
Make Rotary Sustainable!
Learn together Act together

〔事務局〕

橿原市久米町926 奈良県薬業会館内
TEL: 0744-25-3986
FAX: 0744-25-3985
E-mail: krc@jeans.ocn.ne.jp

創立 昭和32年4月19日
会長 松井大典
会長エレクト 河村善一
副会長 中谷昌紀
幹事 安永吉伸
公共イメージ 上江洲康司



2024-25年度 橿原ロータリークラブ クラブテーマ

〔例会日〕

金曜日 12時30分～13時30分
橿原市久米町934 橿原神宮 養正殿
TEL: 0744-26-2789 (代表)

2月は、「平和と紛争予防／紛争解決月間」

(Peace and Conflict Prevention/Resolution Month)です。

第3210回例会報告書

2025(令和7)年2月7日

司会 副SAA・森 範子会員
R.song 君が代・奉仕の理想
ソング・リーダー 西川貴康会員

ゲスト

卓話講師：観世流シテ方能楽師(重要無形文化財保持者)
森本哲郎氏
米山奨学生：フィン・ティ・ニューさん

出席報告

会員50名
(2/7) 出席者35名、MU1名、出席率76.59%
(1/17補正) " 32名、" 7名、" 81.25%

ニコニコ箱

- ◎本日、卓話担当です。よろしくお願ひ致します。
……………関 將之会員
- ◎今年も無事に大寒修行を終えることができました。
皆様、今年もお幸せに。……………辻田真海会員
- ◎無事、還暦を迎えることができました。皆様に祝つて頂き、ありがとうございます。
……………山田善紀会員
- ◎誕生日お祝い
山田善紀会員 (2/10) 尾上隆志会員 (2/26)
- ◎結婚記念日お祝い 米田常彦会員 (2/3)
- ◎入会お祝い 井上輝好会員 (24年)

会長挨拶

〇皆様こんにちは。2月になり、非常に寒い日が続いております。ロータリーの2月の月間テーマは「平和と紛争予防／紛争解決月間」です。ガバナー月信を読んでいきますと、中本ガバナーの力強い言葉が書かれていました。アウシュビッツに収容されなが

ら奇跡的に生き残ったというヴィクトール・フランクルさんが語った「たとえあなたが人生に絶望しても、あなたの人生はあなたに絶望していない」という言葉を紹介された後、中本ガバナーの思いとして「幸せな人は、そうでない人に対して責任があります。今生きている人は、これから生まれてくる人に対して責任があります。」と書かれていました。できることをコツコツとやり続けなければならないという思いが込められているようです。とても良い言葉だと思いましたのでご紹介させて頂きました。

2月11日は「建国記念の日」です。初代神武天皇が橿原の宮にて即位された日です。戦前は紀元節と呼ばれた祝日です。今ではハッピーマンデー制度によって、祝日が月曜日にずらされましたが、この「建国記念の日」や、11月23日の「勤労感謝の日」、これはかつての「新嘗祭」の日ですが、これらのように日程がずらされていないものもあります。当クラブにも、橿原神宮での紀元祭の案内を頂き、例年、会長が参列させて頂いていますが、私は当日、神主としてご奉仕させて頂くため、クラブからは中谷副会長に代理としてご参列頂きます。「大東亜共栄圏」や「八紘一宇」という言葉を聞いたことがあると思いますが、戦時中に日本のスローガンになっていた言葉です。「八紘一宇」は神武天皇が橿原宮で即位した時に述べたとされている言葉で、「八紘をおほいて宇(いえ)となす」つまり、世界が一つの家で暮らそう、世界が一つになって仲良くしよう、というのが本来の意味ですが、明治・大正時代に日本が軍国主義に偏っていった中で、「八紘一宇」という四字熟語を作って戦争のスローガンになってしまったようで、少し残念に思います。そういった正義は国の都合で捻じ曲げられてしまうこともありますので、私達も注意していかなければならないと思います。

幹事報告

△2月誕生日

山田善紀会員 (2/10) 関 俊昭会員 (2/14)

尾上隆志会員 (2/26)

△2月結婚記念日

米田常彦会員 (2/3) 松田安啓会員 (2/18)

△2月入会

井上輝好会員 (24年)



・還暦お祝い品の贈呈：山田善紀会員

△米山奨学生フィン・ティ・ニューさんへ奨学金の授与



△米山記念奨学会及びロータリー日本財団より、確定申告用寄付金領収証をポスティングしています。領収証は原則として再発行されませんので、確定申告時まで大切に保管頂きますようよろしくお願い致します。

△次週2月14日(金)は休会です。次回の例会は2月21日(金)となりますので、お間違えの無いようよろしくお願い致します。

△地区より、2027-28年度地区ガバナーに、京都洛北RCの中野耕太郎氏が決定したとの通知がございましたのでお知らせ致します。※詳細は掲示板にて。

△例会変更ほか(詳細は掲示板にて)

・やまと西和RC

①4月8日(火)→4月6日(土)地区大会に変更
※ビジター受付は3月25日(火)12:00~12:30まで、王寺町まさごビル1階にて。

②4月29日(火・祝)・5月6日(火)・6月24日(火)休会
※ビジター受付は6月24日(火)のみ12:00~12:30まで、王寺町まさごビル1階にて。

・奈良東RC

①4月2日(水)は桜花例会に変更(場所未定)

②4月9日(水)→4月6日(土)地区大会に変更

③4月16日(水)あすかRCと合同例会のため変更
→4月17日(木)

④4月30日(水)・5月14日(水)・6月11日(水)休会
※いずれもビジター受付なし。

委員会報告

○職業奉仕委員会：山田善紀委員長

・地区職業奉仕「講演会」のお知らせについて

日時：3月2日(日)13:30~16:00

場所：リーガロイヤルホテル京都及びZOOM

1月24日にご案内をポスティングさせて頂いております。現地もしくはZOOMどちらかでの参加が可能です。本日を締切とさせて頂いておりますので、参加ご希望の方は事務局までお申し込み下さい。

○社会奉仕委員会：豊田博樹委員長

・大阪・関西万博例会のご案内

日程：5月23日(金)

例会会場：はり重 道頓堀本店

当日の集合・解散場所が変更となりましたので、本日、再度ご案内をポスティングしております。集合・解散場所はともに橿原神宮 養正殿前です。多数のご参加をよろしくお願い致します。

○親睦活動委員会：鶴山 学委員長

・一泊例会(郡山安積RC訪問)について

日程：4月15日(火)~16日(水)

本日ご案内をポスティングしております。17日(木)はオプションツアーも計画中です。日程が近付くにつれて航空チケットの料金が上がってまいりますので、早めのご登録をお願い致します。

○会員増強・情報集会委員会：島田昌則委員長

・第2回情報集会について

発表日：3月28日(金)各組7分以内

本日ご案内をポスティングしております。今回のテーマは「会員間の親睦を図るため」とさせて頂きました。リーダーの皆様におかれましては、発表日までに各組で情報集会を開催して頂きますようよろしくお願い致します。できるだけ多くの方にご参加頂き、交流を深めて頂ければと思います。よろしくお願い致します。



卓 話

担当：関 将之会員

講師：観世流シテ方能楽師（重要無形文化財保持者）
森本哲郎氏



「能の魅力」

《講師プロフィール》

能楽師 観世流シテ方。重要無形文化財総合指定保持者。1965年生まれ。福岡在住。福岡教育大学非常勤講師。幼少より父 故森本司郎の指導を受け、18歳より関西の重鎮 山本勝一の元に内弟子修業に入り、平成4年独立。現在は福岡・北九州・長崎を中心に活動。九州大学では学生に指導するなど、若い世代への能の普及に尽力。ハウステンボス薪能、英彦山薪能、アクロス福岡シンフォニーホール公演などを各団体の依頼により主演・プロデュース。明日香村薪能では第1回～第10回まで主役を勤める。

《能の歴史》

日本の古典演劇を代表する能は、中世の室町時代に観阿弥・世阿弥父子によって大成されました。時の将軍 足利義満の特段の愛顧を受けて、以後江戸時代まで時の権力者の保護を受けてきました。特に徳川幕府は、能を式楽として武家専用の芸能としたため、高尚で格式高い芸風が継承され、洗練を重ねながらその生命が保持されてきました。明治維新後は、政府高官や華族が幕府にとって代わり、各流毎に能舞台を持つ程の隆盛をみせました。その後関東大震災や第二次大戦による冬の時代を迎えますが、戦後間もなく、若手能楽師による能楽ルネッサンス運動を契機に、能の大衆化・国際化の時代を迎え、国や地方自治体による能楽堂の建設が進められ、世阿弥以来の活況を呈していると言えます。

《能の構成》

能は、歌舞劇と言われます。しかし、単純に歌+舞+劇なのではなく、歌舞×劇なのです。オペラが歌を聴かせるもの、バレエが舞踏を見せるものに比べると、能は余程ねらいが深いと思います。能の構成要素を分析すると次の八通りです。

- ①謡（歌・語り・問答・読物）・・・声楽要素
- ②囃子（笛・小鼓・大鼓・太鼓）・・・器楽要素
- ③舞（所作や振り）・・・舞踏要素
- ④型（写実・象徴・抽象）・・・演技要素
- ⑤能面・装束・作り物・小道具・・・美術工芸要素

⑥能舞台（舞台・橋掛り・鏡の間）・・・建築要素

⑦演出形式（夢幻能）・・・時間要素

⑧舞台と客席の一体空間・・・空間要素

能は、これらの構成要素が渾然一体となって綾なす総合舞台芸術と言えます。特に後半の四要素は、歌舞劇の他のジャンルには見当たらない能の特質と言えるでしょう。

《能の五分類》

能の分類法の一つに、能を神男女狂鬼のテーマによって五種に分類する方法があり、通常この順序で番組が構成されます。簡単にご紹介しましょう。

- ・神（初番目物、脇能）
主人公は神そのものであって、仮に人間世界に姿を現し神威を示現し、現世を祝福する。劇的要素に乏しい。
- ・男（二番目物、修羅能）
源平の武者の修羅の姿を劇の中心とし、死の悲惨と生前の栄光が同居している。
- ・女（三番目物、鬘物能）
伊勢物語や源氏物語に典拠したものが多く、様々な恋慕の姿を耽美的に描き、観客を幽玄に誘う。
- ・狂（四番目物、物狂い能）
人間の悲しみや苦しみの極限状態を美しく詩的に展開する。
- ・鬼（五番目物、切能）
鬼を、悪の象徴又は恐怖を形象化したものとして扱っている。鬼のほか妖怪・妖精・怨霊・動物・天狗などが登場する。いずれも急テンポの激しい動きを見せ、終結の能にふさわしい波瀾を展開しピタリと急激に停止する。

《能面の演技》

能は仮面劇ではありますが、すべての役が面（おもて）を着けるわけではありません。生きている男性は面を用いません。神・鬼・幽霊・女・老人はすべて面を着けます。面による感情表現の基本は次の三つしかありません。

- ・面をてらす わずかに仰ぐ（喜びの表現）
- ・面を曇らす わずかに俯く（悲しみの表現）
- ・面を切る 一瞬鋭く角度を変える
(怒りなどの激情の表現)

演者は常に、面によって一切の生の表現を否定した上で、再度面の存在を否定することにより、更に高度の感性と無限の情念の表出を求めてやまないのです。

面を着けない生きている男性は直面（ひためん）と称します。この場合、化粧は全くせず、表情の動きは一切禁忌、面と同様の機能が厳しく要求されます。換言すれば、わずかな瞬きさえも許されないのです。

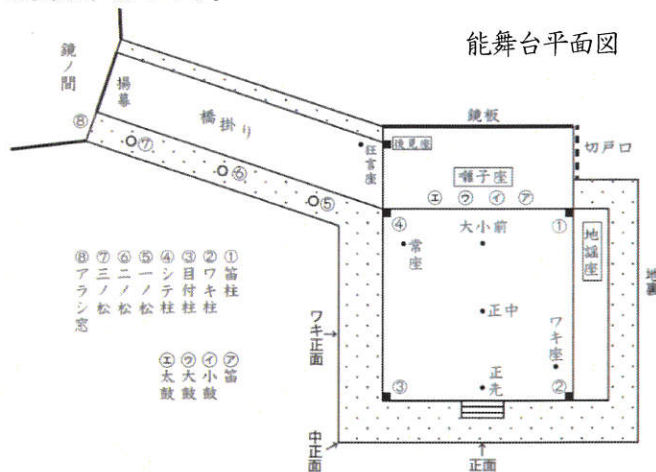
《歩行の芸術》

能では白足袋をはきます。履物は一切用いません。歩行の技術が極めて重要であり、その効果を高めるための白足袋なのです。歩行は床に足の裏をぴたりと付け、摺り足で運行します。どんなに速く動き回る場合

でもこの原則は変わりません。身体全体を腰でまとめ、あたかも一枚の岩が水の上を滑るが如く、滑らかで重厚な運びこそ能の演技の核心なのです。悲しみや落胆を表すのに、涙を押さえたり、顔を伏せたりもしますが、最も能的な表現は一、二歩後退するその足に感情を盛り込むといわれます。つまり、運びの歩幅、速さ、強弱などによって能独特のリズムが生まれ、役の性格が描かれるのです。極端に言えば、顔や手を含めて上半身を全く動かさないでも、能一曲を舞通すことが可能なのです。能は本質的には歩行の芸術なのです。

《能舞台》

能舞台は、能の本質を端的に表しています。白木造りで飾りけがなく、舞台装置もありません。演者の姿だけが浮き彫りになります。床は極度に平滑で、摺り足の効果を高めます。縦深型で観客席に突き出しているため、演者が常に力強く観客に迫って来ます。また、舞台の左側に奥からやや斜めにのびている長い橋の廊下（橋掛り）があり、その行き止まりに幕が垂れています。つまり能には観客と舞台をへだてる幕が無いのです。観客は席に着いた瞬間に、もう、能の世界に面と向かい合わなければなりません。緊張した空気を突き破るような笛の音に促されて、シテ（主役）がゆっくりと橋掛りを渡って現れます。掛りとは掛け橋、つまり他界との通路なのです。夢幻となって此の世にやって来たシテは、月を仰ぎ、山を眺め、鳥の行く姿を追い、草に目を注ぎ、波に戯れるなど、その演技で描き出します。それにつれて観客の心に詩的自然が映し出されますが、能は、観客にも豊かな幻想力を要求するのです。



【例会ご案内】

2月28日（金）《第3例会》
やまとまほろばRC との合同夜間例会

ホスト：樫原RC

「女性社外役員目で見える企業の経営戦略」

公認会計士 吉川和美氏

担当：プログラム委員会

3月7日（金）《第1例会》

「山の魅力について～登山のススメ～」

日本山岳ガイド協会 公認 登山ガイド

奈良山岳自然ガイド協会所属

平 正彦氏

担当：松原由忠会員

3月14日（金）《第2例会》

「脳のクセと言葉の伝え方」

メットライフ生命保険 セールスマネージャー

神之村史氏

担当：上田充希会員

3月21日（金）

休会

【同好会】

書道同好会

3月14日（金）・28日（金）

午後2時～ 於：奈良県薬業会館

【RAC 例会】

〔樫原オークホテルにて、午後7時30分～9時〕

3月10日（月）《第1例会》

奈良ゾーン合同例会

3月24日（月）《第2例会》

国際奉仕②

※卓話資料はデータでの提出をお願い致します。